

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	七夕まつり開催事業		
事業担当	産業振興部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'01	1 人々が集まり、にぎわいと活気にあふれる街づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	湘南ひらつか七夕まつり実行委員会	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
市内観光事業への市民参加が広がるとともに、多くの人が七夕まつりを訪れ、市内の観光振興が図られています。		観光振興のため、市民参加による七夕飾りの充実等により、七夕まつりを開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	七夕ボランティア募集の周知手段数			単位	件
	説明・算定式	七夕まつりホームページ、広報ひらつか、SCN、ローカル紙				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	4	4	4	4	
	実績	4	4	4		
活動指標②	指標名	七夕まつり周知ポスター、はがき配布枚数			単位	枚
	説明・算定式	はがき、宣伝ポスター、交通規制図、行事プログラム、会場案内図				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	220000	220000	220000	220000	
	実績	215928	215980	339056		
成果指標①	指標名	七夕ボランティア参加者数			単位	人
	説明・算定式	自主清掃活動団体、案内所、クリーンキャンペーンクリーンタイム、七夕道案内				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	900	900	1000	1000	
	実績	901	1025	1076		
成果指標②	指標名	七夕まつり市民協力・子ども竹飾り参加団体数			単位	団体
	説明・算定式	市民飾り、子ども飾り				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	55	55	55	55	
	実績	48	51	49		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
<p>第63回の七夕まつりは、実行委員会主催とし、商工会議所青年部と青年会議所が中心となりボランティア募集と説明会を実施し、クリーンボランティア、イベントボランティア、七夕飾りボランティア、観光案内ボランティアへの市民参加を拡充しました。飾りの掲出促進特別委員会を設置し湘南スターモールの七夕飾りが11年ぶりに増えました。平塚市で年中七夕を感じていただけるよう平塚駅北口に、七夕飾りを掲出しました。</p>						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	市民との協働の推進と市内の商業振興及び観光PRのために必要です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> □ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	飾りの掲出をはじめとして市民との協働を継続的に推進することにより、七夕まつり開催への関心を深めるために有効です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 ■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	日本の代表的な七夕まつりとして定着しており、商業の振興と観光の活性化のために七夕まつりを継続することは、妥当です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 ■ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	市民による自主警備や自主企画及びボランティア参加の仕組みづくりを進め、無駄のない運用により、経費の節減と効率的運営を進めていく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 主催者である実行委員会で、開催における経費、安全、環境、飾りの継続掲出、開催場所周辺の居住環境の変化等を踏まえ、市民に愛され、永く継続可能な七夕まつりとしていくために、検討と議論を進め、今後の七夕まつりのあり方を確立していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		七夕まつりの開催	七夕まつりの開催	七夕まつりの開催	七夕まつりの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	60,700	60,000	63,646	60,000
事業費 (A)		60,700	60,000	63,646	60,000
執行率 (%)		93.38	100.00	99.45	
内訳	職員 (人)	2.50	2.45	2.50	2.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	20,260	19,637	19,870	18,752
フルコスト (A+B)		80,960	79,637	83,516	78,752

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 経済的かつ効率的運営を行うため、各団体等と役割分担を行い、さらに運営への市民参画を促進させ、市民の市民による市民のための七夕まつり開催を目指します。
課長コメント 市民が主体となり企画・運営を行うことが出来る環境を引き続き整えるとともに、今後も継続して安心・安全なまつりの開催を確保するため、実行委員会の円滑な運営を進めていきます。